

開講専攻	授業科目	担当教員	必修 選択 の別	単位数
看護学 ----- 6, 7 セメスター	老年看護学実習	川原 礼子 齋藤 美華 森鍵 祐子	必修	3
授業題目	高齢者とその家族の理解と看護援助の実践			
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>目的</p> <p>地域や病院、施設で生活する高齢者とその家族の健康および健康問題について理解し、病院や施設、地域の連携を含めた継続的な支援体制を考慮しながら、ニーズに対応した看護援助ができる能力を養う。</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者とその家族を対象として人間関係を築き、生活と健康および健康問題について理解する。 2. 病院において健康問題を抱えている高齢者を対象に、ニーズに対応した看護援助を展開する。 3. 家庭で療養している高齢者とその家族の生活を考慮した看護援助の実際を学ぶ。 4. 施設で生活する高齢者の健康問題を把握し、支援のあり方について考察する。 5. 病院、施設、地域における関係職種・機関との連携・調整について学び、看護職の役割について考察する。 				
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間：3週間（1週間45時間の授業とする） 2. 実習施設：病院、訪問看護ステーション、介護老人保健施設など 3. 実習展開 <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習オリエンテーション 2) 学内演習および学内カンファレンス（3日間） 3) 訪問看護実習（2日間） 4) 介護老人保健施設等実習（2日間） 5) 病院実習（8日間） <p>詳細については実習要項を参照のこと</p>				
成績評価の方法及び基準				
出席状況、実習態度、実習記録内容、レポート内容を総合的に判断して評価する				
教科書・参考書				
その都度、指示する				